

令和元年(2019年)7月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2019年7月 数量 (トン)	2019年7月 平均単価 (円)	前年同月比 数量	前年同月比 平均単価
1	野菜	人参	北海道産(道南)、青森県産中心の入荷でした。北海道産は作柄も良く、青森県産も順調な出荷が続いたため、入荷量はやや増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	468	113	109%	75%
2		キャベツ	群馬県(嬭恋)産中心の入荷でした。大玉傾向で、入荷量は増加しました。平均単価はかなり安く推移しました。	793	71	112%	68%
3		トマト	曇天・長雨の影響により、入荷量はやや減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	559	302	96%	94%
4		なす	群馬県産中心の入荷でした。天候不順の影響により、入荷量はかなり減少しました。平均単価はかなり高く推移しました。	76	479	64%	148%
5		たまねぎ	大阪府、兵庫県産中心の入荷でした。産地にばらつきがあるも、順調な出荷により、入荷量は増加しました。平均単価はやや安く推移しました。	531	89	116%	96%
6	果実	西瓜	千葉県、新潟県、神奈川県産中心の入荷でした。曇天・長雨の影響により、入荷量はかなり減少しました。平均単価もかなり安く推移しました。	727	147	76%	73%
7		デラ	山梨県産、大阪府産中心の入荷でした。曇天・長雨、梅雨寒等が長く続いた影響から作柄が悪く、入荷量はかなり減少しました。平均単価はやや安く推移しました。	15	911	56%	97%
8		桃	曇天・長雨、梅雨寒等が長く続いた影響から作柄が悪く、山梨県産中心に各産地の出荷量が減少したため、入荷量はかなり減少しました。平均単価は高く推移しました。	143	619	70%	111%

【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上